

3 研究のまとめ

(1) 成果

- 昨年度作成した「授業改善ステップ表」と「手立て一覧表」について、内容の妥当性に加えて構成についても検討し、より汎用性の高いものへと修正することができました。
- 学校現場の先生方の多様なニーズに対応できるよう、「授業改善ステップ表（簡易版）」と「ステップアップシート」を作成しました。また、「手立て一覧表」に挙げた手立てについて、その具体を想起しやすいよう、実際の板書や掲示物、対話の様子等について、「手立ての具体例」として整理しました。
- 本研究を進める中で、研究委員の授業の質が着実に高まっていく様子を見取ることができました。また、それぞれの学級の児童において、資質・能力を徐々に身に付けることができたと考えます。

(2) 課題

- 学習指導案では、現行学習指導要領の評価の観点と対応させて、資質・能力を基にした新学習指導要領の評価を試案として挙げています。しかし、その妥当性については検討の余地が残ります。文部科学省から具体的な評価方法が示された後、検証を行う必要があります。

終わりに

本研究を進めるに当たり、佐賀市立諸富北小学校、武雄市立朝日小学校において公開授業研究会を開催し、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の質的改善の考え方を基にした授業を公開しました。両校には、公開授業研究会の場を提供していただいたことに感謝申し上げます。授業を参観された先生方には、貴重な御意見、御感想を頂きました。本当にありがとうございました。先生方から頂いた御意見、御感想は、今後の研究に生かして参ります。研究スタッフ一同、本研究が、先生方の一助になればと考えております。そして、児童の学びに還元していただければこれに勝る喜びはありません。

最後に、本研究に対し、御指導・御助言を頂いた佐賀大学教育学部教授 達富洋二先生に、深く感謝申し上げます。